

2018年4月25日

2018年5月14日
RX-V485の発売時期を変更

**ハイレゾ再生*1などネットワーク周辺機能を充実させ、高度な音の基本性能も追求した
 Dolby Atmos[®]*2 & DTS:XTM*3 対応ネットワーク AV レシーバーを新発売**

ヤマハ AV レシーバー **『RX-V585』 『RX-V485』**

ヤマハ株式会社は、Dolby Atmos[®]および DTS:XTM (いずれも RX-V585 のみ) や HDR^{*4}/4K 映像伝送への対応に加えてハイレゾ再生や音楽配信サービスなどのネットワーク周辺機能を充実させ、高度な音の基本性能も追求した 7.1ch ネットワーク AV レシーバー「RX-V585」および 5.1ch ネットワーク AV レシーバー「RX-V485」の 2 機種を、5 月下旬より全国で順次発売いたします。

*1: DSD 11.2MHz、WAV/AIFF 192kHz/32bit (32bit-float ファイルは非対応)、FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bit をサポート。

*2: Dolby Atmos[®] (ドルビーアトモス) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した 3 次元サラウンドフォーマット。(RX-V585 のみ対応)

*3: DTS:XTM (ディーティーエス エックス) = DTS 社が開発した 3 次元サラウンドフォーマット。(RX-V585 のみ対応)

*4: HDR (ハイダイナミックレンジ) 映像伝送 = 従来よりも幅広い明暗のダイナミックレンジを持つ映像信号の伝送を可能にする技術。

＜価格と発売時期＞

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-V585	(B)ブラック	73,000円(税抜)	5,000台	5月下旬
AVレシーバー	RX-V485	(B)ブラック	62,000円(税抜)	14,000台	6月中旬

＜製品概要＞

今回発売する「RX-V585」(7.1ch モデル) および「RX-V485」(5.1ch モデル) は、DSD 11.2MHz や WAV/AIFF 192kHz/32bit*1 をサポートするハイレゾ再生をはじめ、高品位音楽配信サービス「Deezer HiFi」(ディーザー ハイファイ) への対応、5GHz 帯/2.4GHz 帯に対応した Wi-Fi の搭載など、ネットワーク周辺機能をいっそう充実させたネットワーク AV レシーバーです。音質面でも、パーツの追加・再選定を含む専用チューニングを機種ごとに実施するなど、より高度な音の基本性能を追求しました。また映像関連では Dolby VisionTM*2 や Hybrid Log-Gamma*3 などの HDR 映像伝送、BT.2020*4 規格、HDCP2.2*5、4K/60p*6 映像信号に対応した 4 入力/1 出力の端子を装備し、最新の 4K 映像ソースも画質を損なうことなく再生できます。さらに 7.1ch モデルの「RX-V585」には、3 次元サラウンドフォーマットの Dolby Atmos[®] および DTS:XTM に対応したデコーダーも搭載しました。加えて、臨場感あふれるシアター空間を創出する独自の音場創生技術「シネマ DSP」や、お使いになる部屋の音響特性に合わせて音場・音質を自動調整する視聴環境最適化システム「YPAO」、新たに Bluetooth 4.2 規格に準拠した Bluetooth[®] オーディオ機能なども装備し、最新の高品位映像コンテンツから動画・音楽の定額制配信メディアに至るまで、さまざまな AV ソースをよりリアルな臨場感と高純度な音質とともに再現します。

*1: 32bit-float ファイルは非対応。 *2: Dolby VisionTM (ドルビービジョン) = ドルビーラボラトリーズ社が開発した HDR 技術。 *3: Hybrid Log-Gamma (ハイブリッドログガンマ) = NHK と英国 BBC が共同提案する HDR 方式。 *4: BT.2020 = ITU-R 勧告に定められた Ultra HDTV (4K/8K) の色域規格。 *5: HDCP2.2 = 4K 映像伝送に対応した最新のデジタル著作権保護技術。 *6: 4K/60p = 4K(4,096 × 2,160 画素) の解像度を持つ映像を、1 秒間に 60 コマで表示すること。

＜主な特長＞

1. 「Dolby Atmos®」&「DTS:X™」対応デコーダーを搭載(RX-V585)

Dolby Atmos®(ドルビーアトモス)とDTS:X™、ふたつの3次元サラウンドフォーマットに対応したサラウンドデコーダーを搭載しました。個々の音を、頭上を含めた室内のあらゆる位置に定位または移動させ、3次元的な音響空間を簡単に創り上げることのできるこの技術への対応により、最新映画で話題のリアルな包囲感や移動感を家庭のシアタールームで楽しめます。本機は5.1.2chスピーカー構成に対応し、プレゼンスピーカーをフロントスピーカー上方壁に設置する「フロントハイト」、天井に設置する「オーバーヘッド」、「ドルビーイネーブルドスピーカー」の3パターンのプレゼンスピーカー設置位置を選択できます。また、DTS:X™再生時には「DTSダイアログコントロール*」でセリフ音量の単独調整も可能です。

*:本機能はDTSダイアログコントロール対応のDTS:X™コンテンツ再生時に限り有効です。



2. DSD 11.2MHz & WAV/AIFF 192kHz/32bit もサポートするハイレゾ再生や「Deezer HiFi」対応など、さらに充実したネットワーク周辺機能

本機のハイレゾ音楽再生はDSD 11.2MHz、WAV/AIFF 192kHz/32bit(32bit-floatファイルは非対応)、FLAC 192kHz/24bit、Apple Lossless 96kHz/24bitを幅広くサポートします。また、約3,600万曲をCD相当(FLAC 44.1kHz/16bit)の高音質でストリーミング聴取できる高品位音楽配信サービス「Deezer HiFi*1」に対応したほか、音楽配信サービス「Spotify」(スポティファイ)のストリーミング聴取も「Spotify Connect*2」(スポティファイ コネクト)機能を利用して便利に楽しめます。さらに内蔵Wi-Fiは5GHz帯/2.4GHz帯に対応し、外部機器との接続時に音声の遅延を抑えて快適なワイヤレス音楽再生を実現しています。

*1:Deezer HiFiは月額制の有料サービスで、利用には別途契約が必要です。また本機でDeezer HiFiを聴取するには、ヤマハが提供する操作アプリ「MusicCast CONTROLLER」(無償)のインストールが必要です。

*2:Spotify Connectの利用にはSpotifyアプリ(無料)のインストールとSpotify Premiumアカウント(有料)への登録が必要です。



3. ヤマハ HiFi アンプのノウハウを投入し、機種ごとに専用の音質チューニングも実施した音質重視設計

ヤマハ HiFi プリメインアンプにも使用される2chステレオ仕様のバーブラウン384kHz/32bit*1D/Aコンバーターを搭載*2したD/Aセクション、アナログ/デジタル完全分離パワーサプライなどの採用により、高度な音の基本性能を追求しました。さらに、パーツの追加・再選定を含む専用の音質チューニングを機種ごとに実施し、「RX-V585」では広大な音場と迫力を感じさせるワイドレンジ志向の音を、「RX-V485」ではエネルギー感あふれるスムーズな聴き心地の良さを実現しています。

*1:本機で再生可能なファイルフォーマットは最大192kHz/32bitです(DSD除く)。

*2:RX-V585には4基、RX-V485には3基を搭載。

4. HDR、BT.2020、HDCP2.2、4K/60p パススルー & 4K アップスケーリングに対応した4入力/1出力のHDMI端子

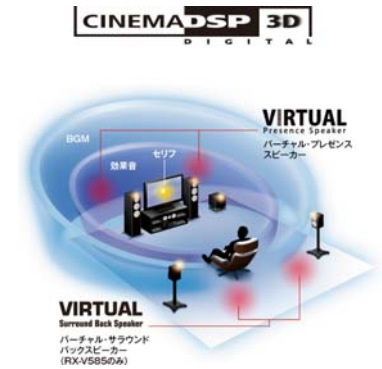
HDR映像伝送やBT.2020映像伝送、HDCP2.2、4K/60p 4:4:4映像信号のパススルー/4Kアップスケーリングに対応する4入力/1出力のHDMI端子を装備しました。映像の色域とダイナミックレンジを大幅に拡大して華やかな色彩や豊かなディテールを再現する高画質化技術「Dolby Vision™」や、放送局が推奨するHDR方式「Hybrid Log-Gamma」にも全端子で対応し、Ultra HD Blu-rayプレーヤーなど複数の対応機器を接続して画質を損なうことなく楽しめます。



5. 独自のシネマ DSP 技術やバーチャル・プレゼンススピーカー機能などにより、さまざまな設置環境で臨場感あふれるシアター空間を創出

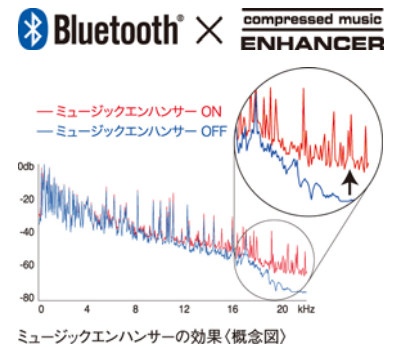
ヤマハ独自の音場創生技術「シネマ DSP」を活かし、映画や音楽、テレビ放送、ゲームなどさまざまなソースに合わせて最適化した 17 種類のサラウンドプログラムを搭載しました。高速大容量 DSP デバイスの投入で高い情報処理能力を実現したほか、仮想のプレゼンススピーカーをリスニング空間に生成する「バーチャル・プレゼンススピーカー」機能や、セリフの位置(高さ)と音量を単独で調整できる「ダイアログリフト* & レベル調整」も装備して、設置環境に応じた最適な臨場感が得られます。また 7.1ch モデルの「RX-V585」では、内蔵パワーアンプの 2ch 分をフロントプレゼンススピーカーまたはサラウンドバックスピーカーに割り当てられるアサイン機能により、実物のプレゼンススピーカーを使用したリアルな「シネマ DSP(3D モード)」再生にも対応します。

*:「ダイアログリフト」は RX-V585 のみ装備。本機能は DTS:X™ 再生時および Dolby Surround, Neural:X デコーダー選択時には動作しません。



6. Bluetooth 4.2 規格に準拠した AAC 対応 Bluetooth®オーディオ受信機能と、音を豊かにするミュージックエンハンサー

内蔵の Bluetooth®オーディオ受信機能は新たに Bluetooth 4.2 規格に準拠し、スマートフォンやタブレットなど外部機器の音声を、遅延を抑えて快適に聴けるようになりました。音声コーデックは標準の SBC のほか高音質の AAC フォーマットにも対応しており、ヤマハ独自の Bluetooth®対応ミュージックエンハンサーと組み合わせることで Bluetooth®の圧縮音声をより魅力的なサウンドで蘇らせます。



【RX-V585/V485 その他の特長・機能】●フロント USB&アナログ音声入力端子 ●部屋の音響特性に合わせて音場・音質を自動調整する視聴環境最適化システム「YPAO」(Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer) ●YPAO の計測結果に基づいて音場効果を最適化し、よりリアルなシアターサウンドを再現する DSP エフェクトノーマライゼーション ●サラウンドスピーカーを含む 5.1ch スピーカーすべてをフロント側に設置して 5.1ch サラウンドが楽しめるバーチャルシネマフロント ●サラウンドスピーカーを使用しない 2.0ch~3.1ch スピーカー構成でも豊かな臨場感が得られるバーチャルシネマ DSP ●ネットワーク上の音楽コンテンツを再生する際に気になる曲間の音の途切れを解消するギャップレス再生 (DSD を除く) ●メインスピーカーにコンパクトスピーカーを使用する場合やサブウーファーなしのシステムでも力強く躍動感のある低音を再現する Extra Bass (エクストラベース) ●再生音量に応じて DSP 効果を自動調整し、常に最適な臨場感が得られる A-DSP 技術 ●入力ソースやボリューム位置に合わせてダイナミックレンジを自動調整し、小音量再生時にも明瞭なサウンドが楽しめる A-DRC 技術 ●40 局プリセット対応ワイド FM/AM チューナー ●ブックマーク&オートプレイ対応インターネットラジオ機能 ●よく使う映像ソースや音場プログラムの組み合わせを呼び出したり、テレビやレコーダーを連動して起動できる SCENE ボタン ●AV CONTROLLER アプリ対応 ●MusicCast®対応 ●本機とネットワーク接続した MusicCast®対応機器の電源を本機と連動してオン/オフできる MusicCast Link 電源連動 ●本機の配線・設定作業をサポートする専用アプリ「AV SETUP GUIDE」対応 ●キッチンや寝室などの別室に置いたスピーカーで音楽などを楽しめるゾーン B 対応スピーカー端子 ●テレビと本機とを 1 本の HDMI ケーブルで接続し、テレビに入力されたロスレス音声 (Dolby True HD, DTS-HD Master Audio) やオブジェクトオーディオ (Dolby Atmos, DTS:X ※RX-V585 のみ対応) を含むテレビ側音声を本機へ伝送できる eARC (エンハンスト・オーディオリターンチャンネル) ※ファームウェア更新により対応予定 ●HDMI 接続した他社製テレビ/レコーダーとの連動を実現するリンク機能 (対応テレビ機種などの詳細は当社製品サイトでご確認ください) ●高精細フロント採用の多言語対応 OSD ●ECO モード、オートスタンバイ機能などにより業界最高水準の省電力を実現

<RX-V585/V485 主な仕様>

型番		RX-V585	RX-V485
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	80W/ch(6Ω、0.09%THD)	80W/ch(6Ω、0.09%THD)
	1kHz、1ch 駆動	115W/ch(6Ω、0.9%THD)	115W/ch(6Ω、0.9%THD)
実用最大出力(JEITA)	1kHz、1ch 駆動	135W/ch(6Ω、10%THD)	135W/ch(6Ω、10%THD)
内蔵パワーアンプ数		7	5
音声入力端子	アナログ	4 系統:ステレオ RCA 3、ステレオミニ 1	
	デジタル	3 系統:光 1、同軸 2	
音声入力端子(その他)		3 系統:USB 1、ネットワーク(100Base-TX/10Base-T)	
映像入力端子		3 系統:コンボジット 3	
音声出力端子	スピーカー出力	7ch (フロントL/R、センター、サラウンドL/R、 サラウンドバックL/R [フロントプレゼンス、Bi-AMP、 ZoneB 兼用])	5ch (フロントL/R、センター、サラウンドL/R [Bi-AMP、ZoneB 兼用])
	PRE OUT	サブウーファー(MONO)×2	サブウーファー(MONO)×1
	その他	1 系統:ヘッドホン 1	
モニター出力端子	MONITOR OUT	1 系統:コンボジット 1	
HDMI 端子 入力/出力		4 入力/1 出力(HDCP2.2 に対応)	
HDMI バススルー		4K/60p 4:4:4、BT.2020、HDR(HDR10、Dolby Vision™、Hybrid Log-Gamma)	
シネマ DSP プログラム数		17	
オブジェクトオーディオ対応		Dolby Atmos®/DTS:X™ 対応	—
Bluetooth® 再生方式(受信)	バージョン	Ver.4.2	
	対応プロファイル	A2DP/AVRCP	
	対応コーデック	SBC/AAC	
ネットワーク 関連機能	Wi-Fi	○(2.4GHz/5GHz IEEE802.11 a/b/g/n/ac 準拠) ※IEEE802.11ac は 20MHz チャンネル帯域幅のみ	
	対応音声フォーマット (USB、サーバー)	DSD 11.2Mz、Apple Lossless 96kHz/24bit、WAV/AIFF 192kHz/32bit (32bit-float ファイルは非対応)、 FLAC 192kHz/24bit、MP3/WMA/MPEG4-AAC 48kHz/24bit	
	ギャップレス再生	○(WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF に対応)	
	AirPlay	○	
	機器連携	○(MusicCast®機能)	
ストリーミングサービス	○(インターネットラジオ、Spotify Connect、Deezer HiFi 対応)		
チューナー		AM/FM(ワイド FM 対応)	
アプリ操作		AV CONTROLLER/MusicCast CONTROLLER	
消費電力		260W	
待機時消費電力		0.1W(HDMI コントロール OFF/スタンバイスルーOFF 時)	
		2.1W(ネットワークスタンバイ ON/HDMI コントロール ON/スタンバイスルーON 時)	
		2.0W(Bluetooth®スタンバイ ON/スタンバイスルーON 時)	
寸法(幅×高さ×奥行)		435W×161H×327D mm(Wi-Fi アンテナ直立時:435W×225.5H×327D mm)	
質量		8.1kg	7.8kg
付属品		リモコン、単 4 乾電池(2 本)、AM アンテナ、FM アンテナ、YPAO 用マイク、取扱説明書、スタートアップガイド	



ヤマハ AV レシーバー 『RX-V585』 カラー:(B)ブラック
本体価格 73,000 円(税抜)

【製品情報】 https://jp.yamaha.com/products/audio_visual/av_receivers_amps/rx-v585/index.html



ヤマハ AV レシーバー 『RX-V485』 カラー:(B)ブラック

本体価格 62,000 円(税抜)

【製品情報】 https://jp.yamaha.com/products/audio_visual/av_receivers_amps/rx-v485/index.html

※文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ

佐藤、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/
(取材申し込みや画像ダウンロードが可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)